

## 2 かさんの「MFJ 北海道エンデューロ選手権第 1 戦ヒーローレーシング大会」 観戦レポート

－ 2 0 2 0.7.1 9 BIGBEAR－



今年の初戦となる“MFJ 北海道エンデューロ選手権第 1 戦ヒーローレーシング大会”を観戦するため、ルスツのBIGBEARに行ってきました。

事前に事務局から入手したエントリーリストによると、出場数は公認クラスが 47 台、承認クラスが 20 台で全総数は 67 台となっていました。内訳は公認クラスの IA クラスが 3 台、IB クラスが 9 台、NA クラスが 9 台、NB クラスが 26 台。承認クラスは B クラスが 3 台、C クラスが 13 台、市販車クラスが 2 台、市販車 EXP クラスが 2 台です。

今年の全道戦で注目される点は、IA クラスの参加者が増えるのかどうか、IB クラスのチャンピオン争いがどうなるのか、そして IB 昇格（3 枠）を狙う NA クラスの戦いが新人を交えてどうなるのか、さらにどんな速い選手が NB クラスに出現するのか、といったところ。

そこで事前にレポートのネタを整理しようとエントリーリストに目を通してビックリ。なんと IA クラスに沼田選手の名前が載っているではありませんか。沼田選手がエンデューロを走るところを最初に見たのは、10 年ほど



前に倶知安の元気村で行われた北海道 XC 戦の時から初めてで、2 回目は 2016 年 11 月に宮城県の SUGO で開催された JEC（全日本）のレースで見た程度。あのときは雨でツルツルになったモトクロスコースのテーブルトップを沼田選手が豪快に飛んでいたのを覚えています。ここ数年プロの走りを直接見る機会は HTDE 以外ではほとんど無くなっていたので、今回の BIGBEAR で沼田選手がどんな走りを見せてくれるのか、とても楽しみにしながらルスツに向かいました。



会場に着くと、天候は少々曇ってはいるものの、気温は暑くもなく寒くもなく、丁度良い感じ。前走者が舞い上げる土ホコリさえ気にしなければ、レースを行うにはベストコンディションのように思えました。

この会場は、いつものレースだと朝 7 時にならないと開門しないのですが、今回はコロナ対策の関係で事前のチェックに時間を要するために、朝早くからゲートを開けてあったようです。

自分が着いた 7 時にはほとんどの選手が到着してピット準備を始めていました。

大会事務局の運営はいつものレースよりも 30 分程度前倒しで始められ、事前に選手の健康状態がチェックされるなど、コロナ感染対策には万全な体制で行うべくスケジュールが組まれていました。



朝 7 時半から受付と車検が始まり、そのあとに開会式とブリーフィングが行われました。





9 時に承認クラスの B・C・市販車、市販車 EXP クラスが一斉スタートし、11 時から公認クラスの IA～NB クラスによる 2 時間 30 分のレースがスタートしました。



(承認クラスのスタート)



## ■レースの概要

### ◆公認クラス

#### ●IA クラス。

IA クラスのレース結果は、言わずもがな沼田選手の圧倒的な勝利でした！！



(42 沼田選手)

全選手の中で 150 分の規定時間内に 20 周を回ったのは沼田選手ただ一人。しかも他の選手を全員ラップしたというから驚きです。

沼田選手と一緒に走った選手の皆さんにはとても良い刺激になったのではないのでしょうか。

今回のレースに沼田選手がエントリーしているということで、もしかしたら今後の全道戦にも全て参加するのではないかと内心期待していたのですが、本人のお話では、9 月 19 日(土)～20 日(日)に、この会場で全日本エンデューロ選手権が行われることから、今回は事前の下見をするために参加したとのことで、少し残念に思いました。

今年から IA クラスもポイントが集計され年間ランキングの表彰もあるようなので、今後また機会があれば参加していただいて、全道戦を盛り上げ欲しいところですね。



なお IA クラスの 2 位は 32 佐藤選手（18 周）、3 位は 37 柴田選手（8 周）でした。



（32 佐藤選手）



（37 柴田選手）

### ● IB クラス

注目の IB クラスで優勝したのは 19 周を回った 140 中江選手。 2 位の 141 伊藤選手との差は僅か 23 秒でした。



（140 中江選手）



自分はスタート直後の写真を撮りたくて、山の中腹で待ち構えていたのですが、最初に現れたのは IB クラスの 141 伊藤智也選手でした。2 番手が 42 沼田選手、3 番手が 140 中江選手の順でひとかたまりになってやってきたのですが、この状態を見たときは、やっぱりこの二人（伊藤、中江）はただ者ではないなという印象を受けました。



今回のレースでは 106 前田選手が欠場しており、いつもの三つ巴戦が見られず残念だったのですが、この辺は次回の夕張戦に期待ですね。



(164 高見選手)

またここ数年、ニコニコ ED の運営や全日本・全道戦ではスタッフに徹していた 164 高見選手が、今回は選手として出場し、18 周を回って見事 3 位に入賞しました。レースは数年ご無沙汰していたものの、実力は依然として衰えていないようです。本人から聞いた話では、今年は全戦に出場することなので、今後トップ争いにどう絡んでくるのか、IB クラスの展開が非常に楽しくなってきましたね！

4 位は 128 木口選手（18 周）、5 位は 121 宮崎選手（18 周）、6 位は 163 久保田選手（18 周）でした。



## ●NA クラス

NA クラスは 324 北谷選手がこのクラスではただ一人 19 周を回って優勝しました。この成績は、公認クラスの総合リザルトでは、IA クラスの 32 佐藤選手（6 番手）や IB クラスの 164 高見選手（7 番手）よりも速い 5 番手の成績でした。



(324 北谷選手)

昨年までこの NA クラスには、141 伊藤選手や 140 中江選手がいたので、324 北谷選手の存在はあまり目立たなかったのですが、今年は印象が全く違って存在感がアリ・アリになってきましたね。



(322 田崎選手)



(327 山下選手)



このほか 2 位は 322 田崎選手（18 周）、3 位は 327 山下選手（18 周）、4 位は 326 松山武史選手（18 周）、5 位は 309 清水選手（17 周）、6 位は 312 伊原選手（17 周）となっています。

なんと 1 位から 4 位までは昨年の NB からの昇格メンバーです。さらに今回欠場した 325 飯田選手がここに絡んでくると、ポイントレースの行方がどうなるのか、NA クラスもますます面白くなってきそうですね。

### ●NB クラス

NB クラスは IA・IB・NA クラスへの登竜門。MFJ の主催する公認レースに出るためには、誰しもまずこのクラスから始めなければなりません。

今回は新たに NB クラスに出場した 555 馬場選手が、同クラスでただ一人 19 周を回って優勝しました。



（555 馬場選手）

このクラスには毎年突如として速い選手が出現するのですが、今回も総合リザルトでいきなり 4 番手の成績を出した NB 選手が現れましたね。

555 馬場選手は先日行われた GEN-TEN エンデューロの数少ない完走者の一人です。

今回はなんと NA クラスで優勝した北谷選手よりも良い成績を出しています。チーム名を見ると沼田選手率いる JUDGEMENT のメンバーのようなので、そう考えると速いのも頷けるような気がしないでもないです。

今後、エンデューロの全道戦に引き続き参戦するのかどうかは分かりませんが、今回の成績を勘案すると、毎回参加すれば順当に上位クラスに昇格出来る実力を持っているようですので、IB を狙う選手はオチオチしていられなくなりそうな感じですね。



2位は 421 松山哲也選手（18 周）、3 位は全道戦初出場の 467 三盃選手（17 周）でした。三盃選手は総合リザルトでも 15 位の成績を出しています。



（421 松山選手）



（467 三盃選手）



（451 高見選手）

またレディースの 451 高見選手も 17 周を回り 7 位に入っています。

451 高見選手は総合リザルトでも 19 位と健闘しており、今後の活躍がとても楽しみになってきましたね！

このクラスの結果は、4 位に 445 沖中選手（17 周）、5 位は 450 斉藤俊輔選手（17 周）、6 位は 475 大森選手（17 周）、7 位は 451 高見選手（17 周）、8 位は 466 佐藤選手（17 周）、9 位は 410 齋藤佑輔選手（17 周）、10 位は菊池選手（17 周）でした。

## ◆承認クラス

### ●B クラス

今年の第 1 戦はヒーローレーシング大会の常連、600 石川選手が 12 周を回り優勝しました。



（600 石川選手）



（603 大石選手）



（612 泉田選手）



600 石川選手は 2 位以下を 1 周回以上の差をつけての圧勝で、2 位は 603 大石選手（11 周）、3 位は 612 泉田選手でした。

### ●C クラス

C クラスは 673 兼村選手が 11 周を回って優勝しました。2 位は 656 真鍋選手（11 周）、3 位は 668 江口選手（11 周）、4 位は 670 高橋選手（11 周）、5 位は 671 佐々木選手（11 周）、6 位は 669 兼子選手（10 周）でした。



（673 兼村選手）



（656 真鍋選手）



（668 江口選手）

### ●市販車クラス・市販車 EXP クラス

市販車クラスは 703 竹村選手が 12 周で優勝、2 位は 705 関井選手（11 周）でした。また市販車 EXP クラスは 700 菅原選手が 12 周を回って優勝、2 位は 701 石原選手（12 周）でした。



（↑ 703 竹村選手）



（↑ 705 関井選手）



（↑ 700 菅原選手）



（↑ 701 石原選手）



## ■表彰式の模様

### ●IA クラス (左から1位～3位)



(42 沼田選手)

(32 佐藤選手)

(37 柴田選手)

### ●IB クラス (左から1位～6位)



(140 中江選手)

(141 伊藤選手)

(164 高見選手)

(128 木口選手)

(121 宮崎選手)

(163 久保田選手)



●NA クラス (左から 1 位～6 位)



(324 北谷選手) (322 田崎選手) (327 山下選手) (326 松山選手) (309 清水選手) (312 伊原選手)

●NB クラス 2-1 (左から 1 位～5 位)



(555 馬場選手) (421 松山選手) (467 三盃選手) (445 沖中選手) (450 斉藤選手)



●NB クラス 2-2 (左から 6 位～10 位)



(475 大森選手) (451 高見選手) (466 佐藤選手) (410 齋藤選手) (449 菊池選手)

●B クラス



(600 石川選手) (603 大石選手) (612 泉田選手)



●C クラス



(673 兼村選手) (656 真鍋選手) (668 江口選手) (670 高橋選手) (671 佐々木選手) (669 兼子選手)

●市販車クラス、市販車 EXP クラス



(702 竹村選手)

(705 関井選手)



(700 菅原選手)

(701 石原選手)

●YAMAHA 特別賞



今回のレースに参加した女性選手にはヤマハから特別賞としてTシャツが贈呈されました



■レース後のスナップ写真…

暑い中大変お疲れ様でした！！











## ■ 次回の全道戦は・・・！！

次のレースは 8 月 23 日（日）に夕張のマウントレースイで「MFJ 北海道エンデューロ選手権 第 2 戦 ヒーローレーシング大会」が、開催されます。

皆さん、次回も是非、会場でお会いしましょう(^ ^)

BY 2 か

## ● 2 かのフォトギャラリー .....

<https://photos.app.goo.gl/WrmKtvvp7D8Ydm1i8>



## ● リザルト .....

[https://www.jmpsa.or.jp/prg\\_img2/pdf/pdf2020072008151223252800.pdf](https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2020072008151223252800.pdf)

## ● MFJ 北海道 ED ポイントランキング .....

[https://www.jmpsa.or.jp/prg\\_img2/pdf/pdf2020072008255541618000.pdf](https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2020072008255541618000.pdf)

## ● MFJ 北海道エンデューロ選手権第 2 戦ヒーローレーシング大会（夕張） .....

[https://www.jmpsa.or.jp/prg\\_img2/pdf/pdf2020061707340710305000.pdf](https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2020061707340710305000.pdf)